

長野県議会 改革・新風 会派だより

第3号 (2012年) 平成24年1月

発行・編集/改革・新風 長野県庁県議会棟内(026)232-0087 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK http://www.kaikaku-shinpuu.com



今年も会派一同がんばります！

- 吉川 彰一 (財務委員長)
- 石和 大 (政策審議副会長)
- 下沢 順一郎 (政務調査会長)
- 依田 明善 (政策審議副会長)
- 野澤 徹司 (幹事長代理)
- 中川 博司 (政策審議副会長)
- 寺島 義幸 (副代表)
- 荒井 武志 (政務調査副会長)
- 倉田 竜彦 (代表)
- 山岸 喜昭 (政務調査副会長)
- 竹内 久幸 (幹事長)
- 堀場 秀孝 (政務調査副会長)
- 小島 康晴 (政策審議副会長)
- 続木 幹夫 (広報企画副委員長)
- 甕 裕一 (広報企画委員長)

栄村の復興支援

長野県北部の地震による災害からの復興を図る「長野県栄村復興基金」を新たに設置し、栄村の復興に向けた取り組みをきめ細かに支援

農林業者の生産活動への支援

生活困窮者等が社会から孤立しないよう相談活動や安心して過ごせる居場所づくりなど生活の自立に向けた支援を実施するNPO等の民間支援団体に助成



阿部知事に提言

10月24日、平成24年度当初予算編成と当面の課題について、県政全般に関する基本的施策27項目と各部署への要望192項目の合計219項目を会派として阿部知事に提言いたしました。主な要望、知事のコメントは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、ただ単にシーリングにこだわるのではなく、「選択と集中」で真に必要な事業には予算配分する

「県民主権を目指す上で重要と考えている。」

◎北陸新幹線延伸やリニア中央新幹線整備等に伴う「新交通ビジョン」については地域公共交通や幹線道路網の整備、観光振興策も位置づけること

◎知事の公約でもある

「公契約条例」の制定を課題はあるが引き続き検討する。」

◎県立高校など老朽化した県有施設の改築のための大幅な予算の確保と基金積立などの実施を

「補正予算を組んでいくが引き続き行う。」

◎「信州型事業仕分け」を廃止し、事業評価に「第三者評価」を導入するなどシステムを刷新させ、また県民参加の判定人制度を活かすため、県政課題を評価する「県民モニター制度」を導入すること

「仕分けは唯一絶対のやり方ではない。結論が出るよう議会で検討して欲しい。県民モニター制度は実現できる方向で考えたい。」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届けいたします。会派事務局までご連絡下さい。

代表年頭ごあいさつ

長野県議会 改革・新風 代表 倉田 竜彦

「改革・新風」県議団を代表して年頭のご挨拶を申し上げます。

私たち「改革・新風」は、産業振興と雇用の安定を図り、福祉・医療・教育など生活者の視点に立ち、将来に安心が持てる県政を目指すことを基本理念として、昨年四月に行われた県議選において県民の皆さんの負託を受けた十五人の議員で新たなスタートを切りました。

県内経済は設備投資や個人消費に回復の動きが見られるものの、長引く円高や欧州に端を発した世界経済の減速等の影響により厳しい状況が続いており、世界を震撼させた東日本大震災以降、県内でも栄村や松本市でも大地震が発生するなど県民の安全・安心を確保する、生活者原点の政治のあり方が今こそ問われています。

厳しい県財政のもと、震災からの復興と県民の日々の暮らしを守る施策を最優先に、我々は政策集団として知事とは「是非々」の姿勢を貫き、徹底した審議・提言を行い、積極的に改革に取り組みでいく決意です。

本年も県民の皆さんとの対話を精力的に行い、皆さんの声を議会活動や政策に反映させて参ります。「改革・新風」に対して一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。年頭のご挨拶といたします。

11月定例会 333億6000万円余 補正予算などを可決

11月定例会県議会は、11月24日に開会し、12月9日までの16日間の会期で開催されました。県内経済の下支えと雇用確保のため、国の第3次補正予算を最大限活用した「緊急経済活性化対策」、栄村の復興に向けた基金の設置や被災施設の復旧などを盛り込んだ333億6911万2000円の一般会計補正予算案等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

長野県緊急経済活性化対策の実施

県有施設の耐震対策

災害時の指揮・情報伝達の拠点となる合同庁舎(上田・伊那・大町)や避難所となる高等学校など耐震対策を優先すべき施設の改修工事、設計を前倒し

老人福祉施設の整備

入所待機者の早期解消を図るため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホームの整備に対して助成

生活困窮者の「絆」再生への支援

震災や円高の影響により離職を余儀なくされた方々の生活の安定に向けて雇用の場を確保するために緊急雇用創出基金を積み増し

地域医療再生基金による取組

地域医療再生基金の積み増し、救急・がん医療の充実強化、人材確保・地域医療連携事業の実施

森林整備加速化・林業再生基金による取組

間伐の推進や作業道整備、林業機械導入などによる健全な森林づくりと県内林業・木材産業の活性化を図るために森林整備加速化・林業再生基金を積み増し

栄村の復興支援

長野県北部の地震による災害からの復興を図る「長野県栄村復興基金」を新たに設置し、栄村の復興に向けた取り組みをきめ細かに支援

農林業者の生産活動への支援

生活困窮者等が社会から孤立しないよう相談活動や安心して過ごせる居場所づくりなど生活の自立に向けた支援を実施するNPO等の民間支援団体に助成

緊急雇用創出基金による取組

震災や円高の影響により離職を余儀なくされた方々の生活の安定に向けて雇用の場を確保するために緊急雇用創出基金を積み増し

地域医療再生基金による取組

地域医療再生基金の積み増し、救急・がん医療の充実強化、人材確保・地域医療連携事業の実施

森林整備加速化・林業再生基金による取組

間伐の推進や作業道整備、林業機械導入などによる健全な森林づくりと県内林業・木材産業の活性化を図るために森林整備加速化・林業再生基金を積み増し

栄村の復興支援

長野県北部の地震による災害からの復興を図る「長野県栄村復興基金」を新たに設置し、栄村の復興に向けた取り組みをきめ細かに支援

農林業者の生産活動への支援

生活困窮者等が社会から孤立しないよう相談活動や安心して過ごせる居場所づくりなど生活の自立に向けた支援を実施するNPO等の民間支援団体に助成

その他

現場の視点でとらえた社会保障懇話会の設置

国における社会保障と税の一体改革について、現場の視点から社会保障の在り方を検討する懇話会を設置

◎中高二貫校設置のための施設整備

諏訪清陵高等学校に併設する中学校施設の実施設計などに着手

栄村の住宅再建において、地元の木材利用を促進し地域木材産業の活性化を図るため、木材製品保管施設の整備に助成

長野県議会 改革・新風 県政対話集会

2012年1月24日(火) 午後6時～

東御市中央公民館講堂

入場無料

皆様お気軽にお出掛けください

本会議場で委員長報告



小島康晴の 県政レポート

VOL 19

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



11月県議会

中期総合計画研究会が始動

夢のある、そして確かな、計画づくりを

県政報告第19号をお届けします。今回は一般質問は行いませんでしたが、会派としての意見書(介護職員の待遇改善)のとりまとめ、委員長としての業務、議会改革調査会や中期総合計画研究会、満蒙開拓平和記念館建設への対応など、全力で取り組みました。

計画行政に議会も責任

阿部知事のもとで、平成25年度を初年度とする次期中期総合計画(5カ年計画)の策定が進められています。議会としても前回同様これに積極的に関わっていくため、「中期総合計画研究会」が設置されました。

私が会派からは寺島副代表と荒井議員そして私が選任されました。「県民起点の計画行政とそれを支える行政評価システムの確立」が私の基本公約の柱であり、しっかりと取り組みます。東日本大震災は、国のあり方から一人一人の国民の暮らし方まで、これまでどおりにはいかな

謹賀新年

昨年は大震災をはじめ、政治、経済とも多難な年でした。今年こそよい年になりますよう「県民生活が第一」を基本に、政務調査に誠心誠意取り組んでまいります。ご意見・ご要望等お気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

(公職選挙法により年賀状は欠礼させていただきました。)

改革調査会と運動して

議会改革調査会では、地域主権が進む中で議会の役割がますます重要となることを踏まえ、議会の開会の通年などを重点的に検討することとしています。

このことにより、計画行政への関わりも強化されますし、下記の決算特別委員会の充実などもやりやすくなると思われま



研究会の方向を確認

運動させてしっかりと取り組みたいと考えています。

環境商工観光委員会から

環境部関係では、自然エネルギーの普及・拡大の取り組みを、地域産業の活性化や雇用の創出に結びつけるため、市町村、民間企業・団体などの連携を図り、技術的支援や財政的支援を講ずるよう要望が出されました。

また、間伐材による木質バイオマス発電を積極的に促進する部局連携の取り組みを求め

る意見が出されました。原発事故に伴う放射能問題について、引き続き空間放射線量の監視測定等を実施し、情報の正確かつ迅速な提供と丁寧な説明を求めました。

商工労働部関係では、来年度からスタートする次期「産業振興戦略プラン」に関して、直面する産業の空洞化を

決算特別委員会の機能強化を

決算特別委員会の決算審査については、9月定例会に付託され、11月定例会において認定するということになりました。

私たちの会派としては、第三者評価の仕組みの導入も含め、事務事業評価を議会としてもしっかりと精査するなど、決算審査の充実・決算特別委員会の機能強化を進めたいと考えています。

防ぎ手立てを求める意見や、企業誘致について、誘致業種の絞り込み、魅力的な助成制度の導入などを求める意見が出されました。

土地改良事業の推進を

議員有志でつくる「土地改良研究会」では、来年度予算編成に向け、必要な事業の推進とそのため

の予算確保、小水力発電の推進など阿部知事に申し入れました。知事からは、農業の課題を3つに整理し、それぞれに見合った施策を行う姿勢が示され、要請事項にも一定の理解が示されました。

観光部関係については、福島原発事故の影響が長期化し、ホテル・旅館業者などを中心に、深刻なダメージを被っていることから、東京電力による損害賠償について、県と



積極的に質疑を行う

遠山地区で 県政報告会

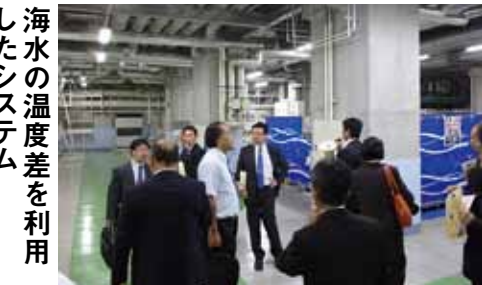
11月5日南信濃地区で、同17日上村地区で、県政報告会を開催しました。地域の活性化、若者定住対策、観光振興、搬出が困難な森林の整備、買い物弱者対策、地域公共交通の確保、三遠南信など道路改良の推進等、多岐にわたり貴重なご意見をいただきました。



上村地区



南信濃地区



海水の温度差を利用したシステム



観光再生をめざす古戦場を視察



知事も前向きに回答

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-shinpuu.com
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com